

ほづみっ子

～自分がすき 友達がすき 穂積がすきのほづみっ子をめざして～

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

9月1日から学校が再開し、3週間が経ちました。9月当初見られた緊張感や不安が徐々にやる気に変化し、学校に再び活気が戻ってきました。今は、どの学級でも前期の振り返りを行っています。成果と課題を洗い出し、後期のよりよい学校生活につなげていけるようにしていきたいです。

4月18日(火)に全国一斉で6年生児童が実施しました「令和5年度 全国学力・学習状況調査(国語・算数・質問紙)」の結果を報告させていただきます。また、結果から主な成果と、今後の取組についてまとめさせていただきましたので、併せて報告させていただきます。

【全体】

- ・今年度の本校の学力の状況は、国語・算数とも全国及び県の平均よりも高い正答率でした。詳細は、以下の通りですが、今後とも、授業において、主体的、対話的で深い学びを推進していくとともに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、それらを活用して考える力や判断する力、表現する力を高めていきたいと考えています。
- ・問題形式には、選択式(解答を選択する)、短答式(解答を本文中から抜き出したり、比較的短い文で解答したりする)、記述式(文章で解答する)があります。国語、算数ともに「記述式」の正答率が低かったです。必要な情報を読み取り、自分の考えを適切に表現していく授業をさらに推進していく必要があります。

【国語】

- ・漢字を正しく書いたり、読んだりすることの正答率は高いですが、敬語の意味理解についての正答率はやや低いです。
- ・図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書く力の正答率が低いです。授業で図表を丁寧に読み取り、自分の考えを工夫しながら伝え合う場を位置付けていきます。

【算数】

- ・「割合」の問題の正答率は、全国平均よりは高いですが、苦手意識がある児童も見られます。どの学年でも「割合」の学習をより丁寧に進めます。
- ・「図形」の問題の正答率は低いです。図形を正確に描いたり、意味や性質を正しく理解したりする授業を大切にしていきます。

<質問紙(抜粋)回答>

※各質問に、「よく当てはまる」と回答した児童数の割合(%)

↑全国平均より高い割合、↓全国平均より低い割合

質問内容(主に家庭・地域の学習や生活に関わること)	全国	穂積小
① 朝食を毎日食べていますか。	83.7	↑
② 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	38.1	↑
③ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	55.1	↑
④ 自分には、よいところがあると思いますか。	42.6	↑
⑤ 将来の夢や目標をもっていますか。	60.8	↑
⑥ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	75.3	↑
⑦ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	33.2	↑
⑧ 地域の行事に参加していますか。	24.3	↑
⑨ 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。	40.8	↑
⑩ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	28.7	↑
⑪ 読書は好きですか。	39.4	↑

⑫学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	67.5	↓
⑬自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	24.8	↑
⑭課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	30.5	↑
⑮学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	38.6	↑
⑯学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	30.6	↑
⑰友達関係に満足していますか。	63.2	↑
⑱普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。	49.9	↑
⑲国語の勉強は好きですか。	23.8	↓
⑳算数の勉強は好きですか。	34.8	↑

<考察・まとめ>

1 主な成果

○全国や岐阜県と比較して、国語・算数の正答率が高い。

<家庭の取組>

- ・質問紙①②③⑩⑪に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して多いことから、基本的な生活習慣が身に付いている児童が多く、家庭学習や読書の時間が定着していると考えられます。
- ・質問紙④⑤に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して多いことから、目標をもって取り組んだ成果やよさを家庭や学校で適切に認められていると考えられます。

<学校の取組>

- ・「記述式」の問題に対する正答率は低いですが、全国・岐阜県と比較すると高いです。引き続き、授業中に自分の考えを書いたり、学習のまとめを書く際にキーワードを使って自分の言葉（文章）で書いたりする機会を位置付けていきます。
- ・「思考・判断・表現」の問題に対する正答率が全国・岐阜県と比較して高いです。授業に対話的な活動を位置付け、自分の考えを根拠をもとに相手に話したり、相手の考えを理解し説明したりする機会を多く位置付けた成果と考えられます。

2 今後の取組

<学校の取組>

- ・国語・算数ともに正答率が全国・岐阜県と比較してやや高いですが、質問紙⑱に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国と比較して低いため、一人一人の子どもたちが、「できた。分かった。参加できた。」と実感できるように、今後の授業や学校生活においては、（１）対話的活動を位置付けること（２）自分の考えを記述すること（３）読書を推進していくことの3点に重点的に取り組んでいきます。
- ・質問紙⑳に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して低いです。調べ学習でインターネット検索をするほか、学習の中で自分の考えを相手に発信したり、相手の考えを理解し自分の考えを広げたり深めたりできるよう、タブレットを効果的に活用していきます。

<学校と家庭の連携>

- ・質問紙②に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して高いですが、半数以上の児童が「毎日、同じくらいの時刻に寝ていない」ことが分かります。SNSの利用時間が長くなり、寝る時刻が遅くなる小学生や中・高生が増えている現状を踏まえ、SNSの効果的な活用と弊害について、学校と家庭が連携しながら子どもたちに指導していきます。